



映画評論家 清水節さん「リリーのすべて」

舞台は1926年、デンマーク。風景画家のアイナーは肖像画家のゲルダと結婚し、デンマークで充実した日々を送っていた。ある日、アイナーは妻に頼まれて女性モデルの代役をしたことを機に、自分の内側に潜む女性「リリー」の存在に気づく。心と身体が一致しない状況に苦悩するアイナー。一方のゲルダは夫の変化に戸惑いながらも、いつしかリリーこそがアイナーの本質であると理解していく…。

世界初の性別適合手術に臨んだ男性の実話を映画化

これは自分らしく生きることを強く望んだ人間の勇気の物語です。

仲睦まじい結婚生活を送っていた画家の夫婦。ある日、夫は妻に頼まれて女性モデルを務めるのですが、その瞬間、彼は自分に内なる女性「リリー」が存在することに気がきます。

心と体が一致しない困惑。

平凡な日常の崩壊。

それでも理解者であり続けた妻の姿が胸を打ちます。



TOHOシネマズ 六本木ヒルズ

これは今から80年前、命の危険を賭して世界初の性別適合手術を受けたデンマーク人の実話に基づくストーリー。トランスジェンダーの苦悩を体現するのはオスカー俳優、エディ・レッドメイン。

性別を超えた魂の触れ合いのドラマでもあります。

「リリーのすべて」は、TOHOシネマズ 六本木ヒルズにて3月18日から上映します。

▶ TOHOシネマズ 六本木ヒルズ

(2016.03.07)

今年度アカデミー助演女優賞受賞！

監督は「英国王のスピーチ」でアカデミー賞4部門を受賞したトム・フーパー。主演は「博士と彼女のセオリー」でアカデミー主演男優賞を受賞したエディ・レッドメイン。そんな2人が今回、「レ・ミゼラブル」以来のタッグを組みました。

そして、夫を支える妻を演じたのがアリシア・ヴィキャンデル。スウェーデン出身の彼女は、デビュー作「Pure」でベルリン国際映画祭のシューティングスター賞（新人賞）を受賞するなど期待の若手女優として高く評価されてきたが、この作品でついにアカデミー助演女優賞を受賞しました。

名匠と名優が織りなす感動のドラマをぜひお見逃しなく。

プロフィール



映画評論家・クリエイティブディレクター。1962年東京生まれ。共著書に新潮新書「スター・ウォーズ学」。企画・構成原案・取材を担当したWOWOW「ノンフィクションW 撮影監督ハリー三村のヒロシマ」でギャラ